

## 第三中学校区まちづくり円卓会議設立趣意書

昨年7月、市はモデル事業として、中学校区を単位に地域のことは地域で考え実践する「新しいまちづくり制度（まちづくり円卓会議）」を発表しました。

この制度は、自分たちの納めた税金の一部の活用について、自らの事業提案により「市の予算編成にかかわることができる」という今までにないものです。



さて、安全で安心して暮らすことのできる地域社会の“つながり”を支えてきた身近な自治会や住宅会の加入世帯が減少傾向にあり、さらに少子高齢化や人口減少といった社会情勢の進展によって、

- いざというとき、誰が守ってくれるのか？  
⇒役所、消防、警察などの対応に限界がある。
- 同じような活動をしている団体がある（活動が重なっている）。  
⇒例：子どもの見守り活動など
- 防犯や防災などの活動は、自治会で温度差がある。  
⇒防犯支部も自主防災組織もない。  
⇒防犯支部はあるが自主防災組織がない（又はその逆もある）。
- 自治会長は短期で交代し、課題に対し継続的に取り組めない。  
⇒地区長会でも49団体のうち、約半数が交代している。

など、これまでのような行政が主体となったやり方では、もう立ち行かなくなってしまうと感じています。

そこで、私たちは、地域内で活動する様々な団体が考え方や価値観の違いを乗り越えて結集しようと有志が集まり、（仮称）第三中学校区まちづくり円卓会議の設立に向けた準備を進めてきました。

今、地域コミュニティが希薄になったと言われていますが、私たちの第三中学校区は“だんじり祭り”という共通の歴史と文化があり、人と人、団体と団体のつながりといった資源を活用して、さらに安全で安心できる地域社会を進める底力を秘めた地域です。



私たちの第三中学校区が「**住んで楽しい、住んでみたい、住んでよかった**」と思えるまちづくりは、自分たちの子どもや孫に引き継ぐものであり、**★みんなの力で ★住んで楽しい ★まちづくり**の実現に向けて地域のまちづくりを計画的に進めていくため、ここにまちづくり円卓会議を設立するものであります。

平成21年11月8日

第三中学校区まちづくり円卓会議